

「人事を尽くして天命を待つ」。自分にできる最大限の努力をし、ベストを尽くしたならば、結果は天に任せるという意味です。M氏は家を購入する計画を立て、複数の不動産業者に相談をしました。家のパンフレットをファックスで送り続ける営業マン、電話で情報を提供する営業マン、デジタルカメラで物件を撮影しM氏の自宅まで届ける営業マンと、そのタイプは様々でした。それぞれの営業マンのもたらす情報にM氏は悩みましたが、ふと不動産業を営む知人の言葉を思い出したのです。

「Mさん、家や土地、不動産も含めて、出会いは『縁』ですよ。人との出会いや仕事も最後は『縁』です。ただし『縁』のレベルは最高の『縁』から最悪の『縁』まで様々です。その『縁』を創るのは自分自身の生き方ですよ。だから無理をして何かを手に入れても、自分に合わないものは逃げていきます。『要物必与』とも言うように、自分に見合った必要なものは与えられるものです。与えられたものは今の自分にとって必要なのだと思えばどうですか。考えることは大切ですが、迷う必要はありませんよ」

「縁」は「ゆかり」「関係」「ふち」「へり」などの意味もありますが、要するにつながりといえます。「あみだクジ」のようにつながっていった最後に結果があるのです。

そのつながる力は何なのかと考えたM氏は、自然はバランスを保とう、調和しようとしている。人の世も同様だ。今の自分に一番見合った環境が提供されるので、結果は天に任せ、与えられたものを『これがよい』と受け止めよう。それが自然の摂理だ。



出会いを活かし 自分を向上させる

自分はやるべきことをしつかりやっていたばよい。と思った時、氏は気が楽になったそうです。結果として、何度も自宅を訪れた営業マンによって理想的な家が手に入ったということでした。

たとえ自分自身の器以上のものを強引に手にしても、自分に縁のないものであれば最後は去っていつてしまってしまうでしょう。より良い出会いと充実した人生を送るためには、自分自身がトータル的にレベルアップするより他ありません。

「希望と明確な目標があるか」

「今に感謝しているか」

「仕事に対する熱意はどうか」

「職場での人間関係は良好か」

「親に感謝し尊敬しているか」

「夫婦の仲はどうか」

「親として子供に対する愛情はあるか」

このような総合的な人間的資質が、良い出会いや縁につながるのです。俗に「天網恢恢疎にして漏らさず」「お天道様は見ている」ともいいます。天の網は緻密で、悪事を行なえば一時逃れられたように見えてもいつかは必ず暴かれ、決して見逃されることはありません。昨今の企業不祥事等では、その最たるものでしょう。結局、現状はすべて自分自身の生き様の結果なのです。

え・牧えみこ

経営環境が厳しい今こそ、「何のために」「誰のために」という事業の目的を再確認し、「今、何をすべきか」を熟慮して最大限の努力をすることが肝要です。やってやってもやり抜く。そして、最後は天が見ているという大きな気持ちで「企業人としての道」を貫き通そうではありませんか。